

样 題  
广东外语外贸大学

2006 年度全国硕士研究生入学考试 复试

日语专业 文学方向

これは問題用紙です。解答はすべて解答用紙に記入すること(100 点満点)

問題一、次の文の下線部に入れる最も適当なものを A～D から一つ選びなさい。  
(10%)

1. 大正時代は、第一次世界大戦後の自由主義精神の一段の伸長と相まって、前期の自然主義や耽美派の新浪漫主義的傾向の反動として、理想の荒廃から立ち上がった\_\_\_\_\_による人道主義の文学が栄え、それと並行して理想主義のもつ現実遊離の傾向に対する反動を基調として、現実への再認識を狙う新現実派の活躍が見られる。

A 白樺派 B 無頼派 C 理想派 D 楽天派

解答例: A

問題二、下記の選択肢から適当な答えを選び、該当番号を\_\_\_\_\_に書き入れなさい(20%)

2. 作者が東北線の列車で偶然乗り合わせた子供連れの母の姿に材を得た書いたものは\_\_\_\_\_である。

A 『暗夜行路』 B 『小僧の神様』 C 『網走まで』 D 『城の崎にて』

解答例: C

問題三、次の問題を 100 字程度で答えなさい。(20%)

1. 言文一致運動

解答例: 明治二十年代より国民国家の形成に伴って起こった書き言葉と話し言葉の統一を目指す言語及び文学の改革運動。代表人物は山田美妙などがある。文体の面において「です」調、「だ」調、「である」調が提起された。

問題四、与えられた複数のテーマから一つ選んで、1, 200 字程度の小論文を書きなさい。(50%)

1. 簡単に自然主義の発生及び流れの特徴を述べなさい

ポイント: ①前期自然主義と後期自然主義に分けて述べること。

②永井荷風、島崎藤村、田山花袋を中心に。

③ヨーロッパのゾラ-イズムの影響。

样 題  
广东外语外贸大学

2006 年度全国硕士研究生入学考试 复试

日语专业 文化方向

これは問題用紙です。解答はすべて解答用紙に記入すること(100 点満点)

一. 問題一、次の文の下線部に入れる最も適当なものを A～D から一つ選びなさい。(10%)

1. 「場」を強調し「ウチ」と「ソト」を強く意識して区別する日本の社会構造は、個人主義と契約精神を重んじる欧米社会とかなり違い、日本著名な社会学者中根千枝はかつてそれを(「\_\_\_\_\_」)社会と呼んでいる。

A ヨコ      B 先進      C タテ      D 後進

解答例: C (タテ)

二. 問題二、次の問題を 100 字程度で答えなさい。(20%)

日本史上における大化の改新とは何か。

解答例: 紀元 645 年、中臣鎌足なかとみのかまたりらは蘇我氏そがうじを滅ぼして国政の改革に乗り出した。また、この年に大化という年号を立てた。この改革は「大化の改新」と呼ばれる。

問題三、次の問題を 200 字以内で述べなさい。(20%)

1. 日本近世の国学者本居宣長はかつて次のようなことを述べている。「四季折々の景色は、ことにもののあはれを感じずるものなり」と。引用文にある「もののあはれ」の意味を簡潔に解説せよ。

解答例: 自然・人生・芸術などに触発されて生ずる、しみじみとした情趣や哀感。平安時代の文学をとらえる上での文学理念・美的理念。外界としての「もの」と感情としての「あわれ」とが一致する所に生じた、調和的な情趣の世界をとらえていう。本居宣長が指摘し、その最高の達成が源氏物語であるとした。

問題四、与えられた複数のテーマから一つ選んで、1200 字程度の小論文を書きなさい。(50%)

1. 日本近世の初期から幕末にかけて幾つかの学派の思想が現れており、しかも互いに影響しつつ時代に働きかけて行ったが、そのような例を一つあげて簡潔に述べよ。

## 样 題

### 广东外语外贸大学

### 2006 年度全国硕士研究生入学考试 复试

### 日语专业 语言方向

これは問題用紙です。解答はすべて解答用紙に記入すること 100 点満点

問題一、次の文の下線部に入れる最も適当なものを A～D から一つ選びなさい。

(10%)

1. 弟は喧嘩に負けて 　　　　　　そうに泣いています。

A 気の毒    B まずしい    C 不安    D くやしい

解答: D くやし

問題二、次の問題を 60 字程度で答えなさい。(20%)

1. 謙譲語とは何か。

解答: 敬語の一。話し手が聞き手や話中の人に対して敬意を表すため、自分(または自分側)のもののや動作などを謙って言い表すもの。

問題三、次の問題を 200 字以内で述べなさい。(20%)

1. 日本語の形式名詞について、例を挙げて述べなさい。

解答: 名詞の中の一つ。連体修飾語を受けて用いられるもの。その際、実質的な意味が希薄である。例えば、「大きいことはいいことだ。」「売ったものに責任がある」「東のほうへ進んでいく」「あの人は来ないはずです」の「こと、もの、ほう、はず」は形式名詞である。「このことはやってはいけない」「ものは確かだ」の「こと、もの」は実質名詞である。

問題四、与えられた複数のテーマから一つ選んで、1200 字程度の小論文を書きなさい。(50%)